
四日市市
在宅生活改善調査
報告書

令和8年7月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 調査結果	2
(1) 事業所票	2
(2) 利用者票	4

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行うにあたり、介護保険事業者の現状等について把握し、今後の四日市市の介護保険事業及び高齢者福祉施策のための基礎的な資料を作成するために実施しました。

(2) 調査の実施について

対象	市内の居宅介護支援事業所(居介・包括)、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護
実施期間	令和7年12月22日(月)～令和8年5月14日(木)
実施方法	WEB調査

(3) 有効回答件数及び回答率

	対象数	有効回答数	有効回答率
事業所票	83 件	17 件	20.5%
利用者票	－	80 件	－

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer =いくつでも)、3LA (3 Limited Answer=3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。

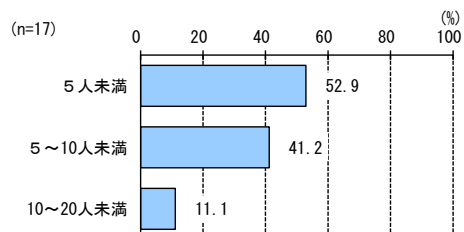
2. 調査結果

(1) 事業所票

- 問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。(数値を記入)

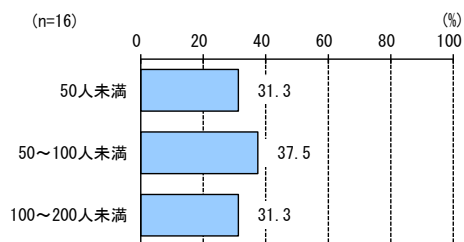
○ 所属するケアマネジャーの人数について、「5人未満」が52.9%で最も多く、次いで「5～10人未満」が41.2%、「10～20人未満」が11.1%となっています。

【所属するケアマネジャーの人数】



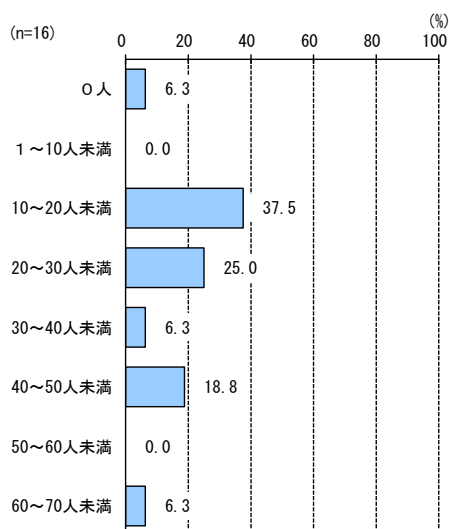
○ 「自宅等（有料老人ホーム等を除く）」にお住いの利用者数について、「50～100人未満」が37.5%で最も多く、次いで「50人未満」「100～200人未満」が31.3%となっています。

【「自宅等（有料老人ホーム等を除く）」にお住いの利用者数】



○ 「サ高住」「住宅型有料」「軽費老人ホーム」にお住いの利用者数について、「10～20人未満」が37.5%で最も多く、次いで「20～30人未満」が25.0%、「40～50人未満」が18.8%となっています。

【「サ高住」「住宅型有料」「軽費老人ホーム」にお住いの利用者数】



- 問2 貴事業所において、過去1年の間(令和6年12月1日～令和7年11月30日)に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。

○ 居場所を変更した利用者数（要介護度と死亡別）について、「要介護度1」が154人で最も多く、次いで「死亡」が124人、「要介護3」が64人となっています。

【居場所を変更した利用者数（要介護度と死亡別）】

		合計人数	割合
居場所を変更した要介護度別の利用者数	要支援1	28	6.4
	要支援2	22	5.0
	要介護1	154	35.3
	要介護2	46	10.6
	要介護3	64	14.7
	要介護4	58	13.3
	要介護5	16	3.7
	申請中・不明	48	11.0
自宅等で死亡した利用者数	死亡	124	28.4
計		436	100.0

- 問3 貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご記入ください。（数値を記入）

○ 居場所を変更した利用者数（行先別）について、「自宅等での死亡」が129人で最も多く、次いで「行き先を把握していない」が114人、市内の「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）」が77人となっています。

【居所変更した利用者数（行先別）】

	市内		市外	
	合計人数	割合	合計人数	割合
兄弟・子ども・親戚等の家	2	0.4	2	0.4
住宅型有料老人ホーム	40	7.1	18	3.2
軽費老人ホーム（特定施設除く）	4	0.7	0	0.0
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	77	13.8	2	0.4
グループホーム	15	2.7	0	0.0
特定施設	1	0.2	0	0.0
地域密着型特定施設	5	0.9	0	0.0
介護老人保健施設	46	8.2	3	0.5
介護医療院	0	0.0	0	0.0
特別養護老人ホーム	54	9.6	2	0.4
地域密着型特別養護老人ホーム	6	1.1	0	0.0
病院・診療所 ※一時的な入院を除く	39	7.0	0	0.0
その他	1	0.2	0	0.0
行き先を把握していない	114	20.4		
自宅等での死亡 ※搬送先での死亡を含む	129	23.0		
計	560	100.0		

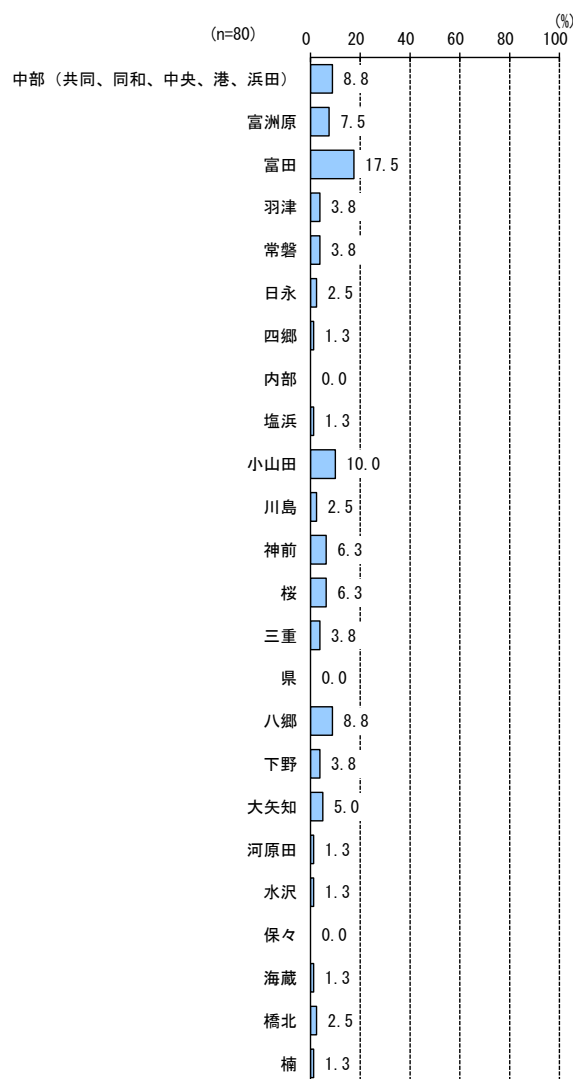
(2) 利用者票

問1. 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。

●問1-0 利用者の所在地区

○ 利用者の所在地区について、「富田」が 17.5%で最も多く、次いで「小山田」が 10.0%、「中部（共同、同和、中央、港、浜田）」が8.8%となっています。

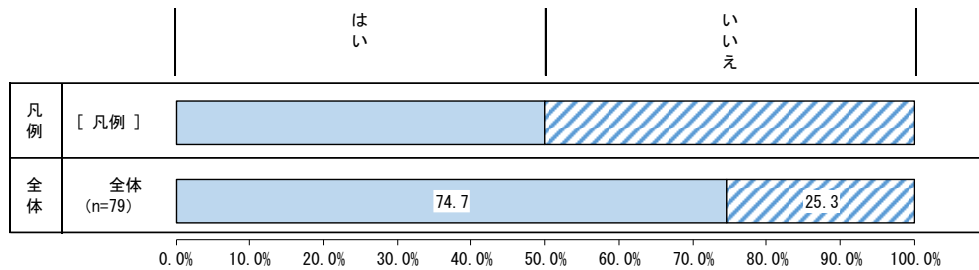
【利用者の所在地区】



●問1-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」に該当しますか

- 現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっているかについて、「はい」が 74.7%、「いいえ」が 25.3%となっています。

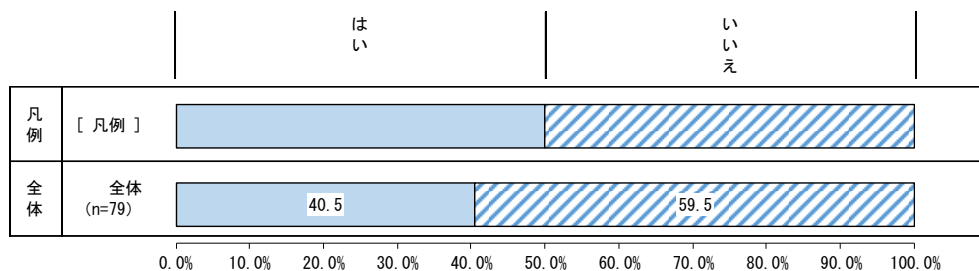
【現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっているか】



●問1-2 「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」に該当しますか

- 介護者の就労継続が難しくなっているかについて、「はい」が 40.5%、「いいえ」が 59.5%となっています。

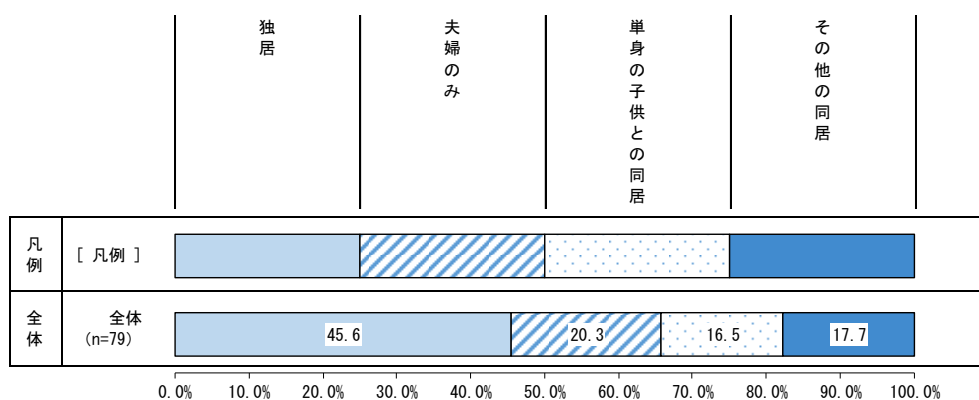
【介護者の就労継続が難しくなっているか】



●問1-3 世帯類型

- 世帯類型について、「独居」が 45.6%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が 20.3%、「その他の同居」が 17.7%となっています。

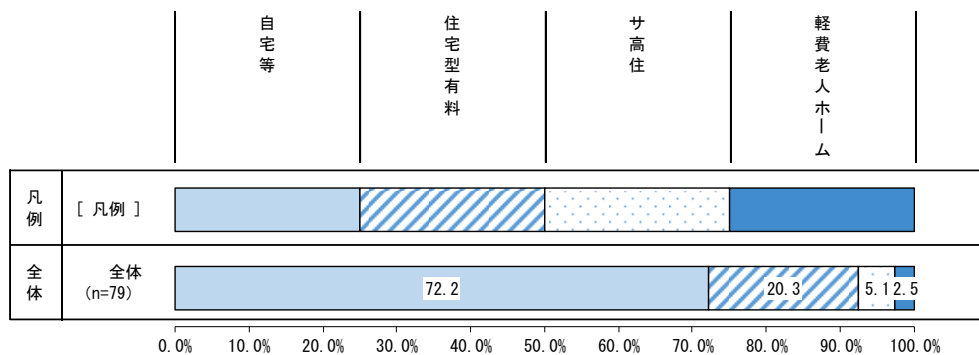
【世帯類型】



●問1-4 現在の居所

- 現在の居所について、「自宅等」が 72.2%で最も多く、次いで「住宅型有料」が 20.3%、「サ高住」が 5.1%となっています。

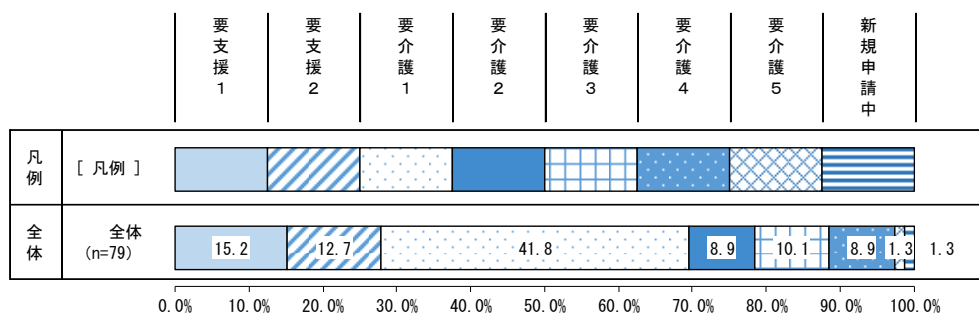
【現在の居所】



●問1-5 要支援・要介護度

- 要支援・要介護度について、「要介護1」が 41.8%で最も多く、次いで「要支援1」が 15.2%、「要支援2」が 12.7%となっています。

【要支援・要介護度】

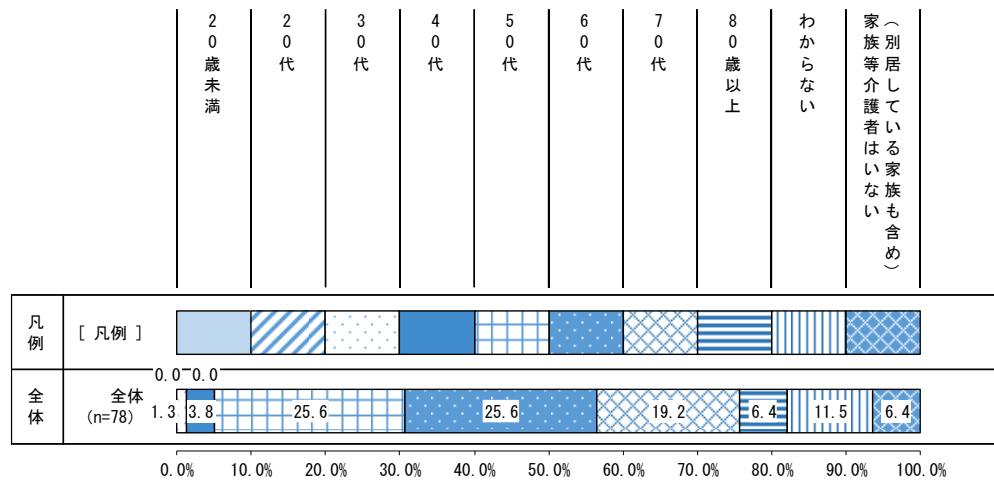


問2. 対象となる利用者の主な家族等介護者の状況等について、お伺いします。

●問2-1 主な家族等介護者の方の年代

○ 介護者の年代について、「50代」「60代」が25.6%で最も多く、次いで「70代」が19.2%、「わからない」が11.5%となっています。

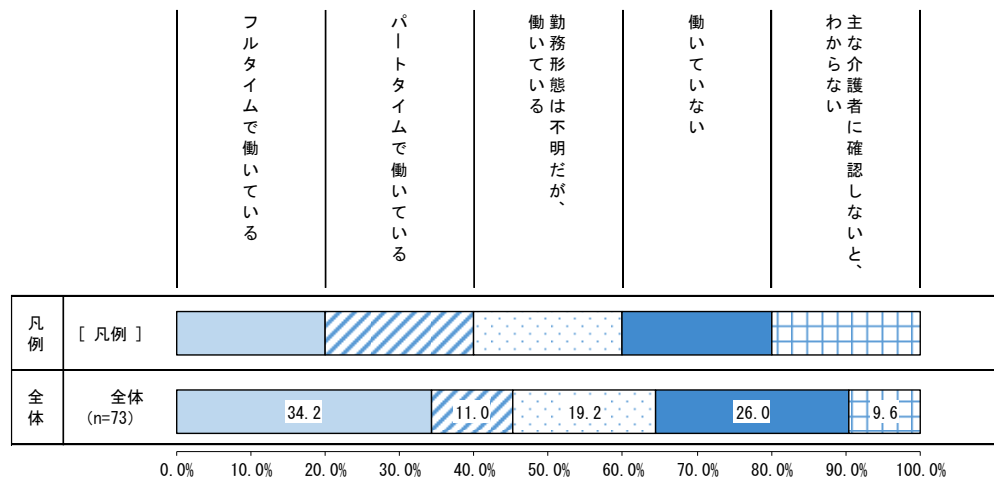
【介護者の年代】



●問2-2 主な家族等介護者の方の現在の勤務形態

○ 介護者の勤務形態について、「フルタイムで働いている」が34.2%で最も多く、次いで「働いていない」が26.0%、「勤務形態は不明だが、働いている」が19.2%となっています。

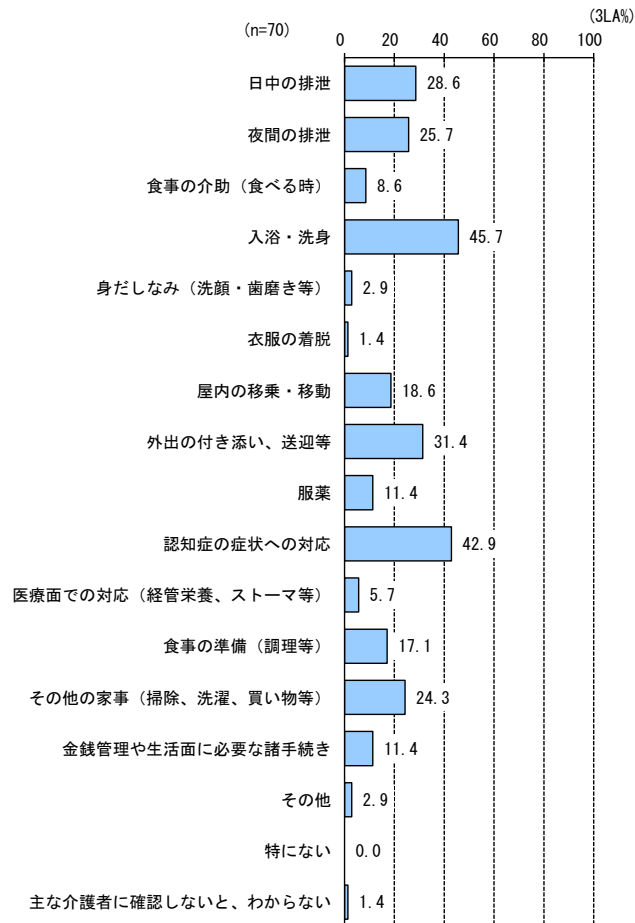
【介護者の勤務形態】



- 問2-3 今後の在宅生活の継続、または家族等介護者の就労継続に向けて、特に家族等介護者の負担になっている介護（3つまで選択可）

○ 介護者の負担になっている介護について、「入浴・洗身」が45.7%で最も多く、次いで「認知症の症状への対応」が42.9%、「外出の付き添い、送迎等」が31.4%となっています。

【介護者の負担になっている介護(3LA)】

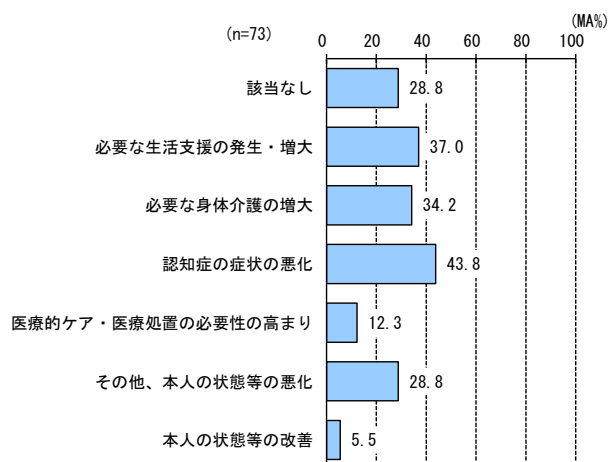


問3. 現在のサービス利用では、本人の生活の維持、もしくは家族等介護者の就労継続が難しくなっている理由等について、お伺いします。

●問3-1 本人の状態等に属する理由（複数選択可）

- 本人の状態等に属する理由について、「認知症の症状の悪化」が43.8%で最も多く、次いで「必要な生活支援の発生・増大」が37.0%、「必要な身体介護の増大」が34.2%となっています。

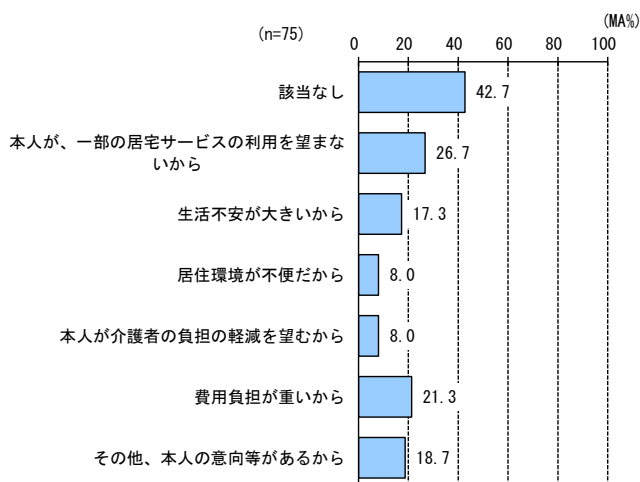
【本人の状態等に属する理由(MA)】



●問3-2 主に本人の意向等に属する理由（複数選択可）

- 本人の意向等に属する理由について、「該当なし」が42.7%で最も多く、次いで「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」が26.7%、「費用負担が重いから」が21.3%となっています。

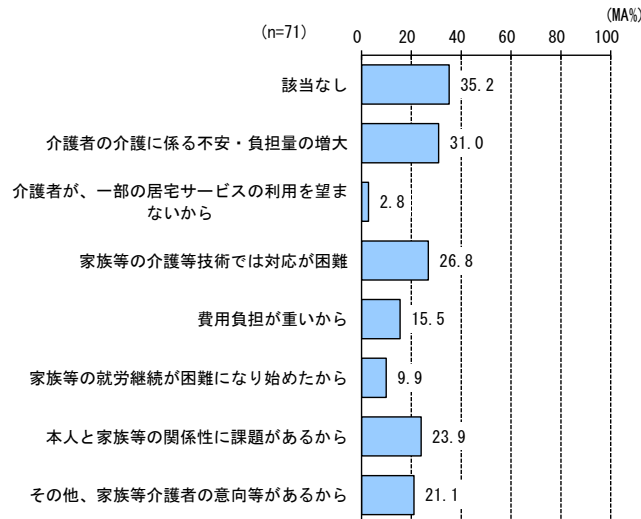
【本人の意向等に属する理由(MA)】



●問3-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由（複数選択可）

- 介護者の意向・負担等に属する理由について、「該当なし」が 35.2%で最も多く、次いで「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が31.0%、「家族等の介護等技術では対応が困難」が 26.8%となっています。

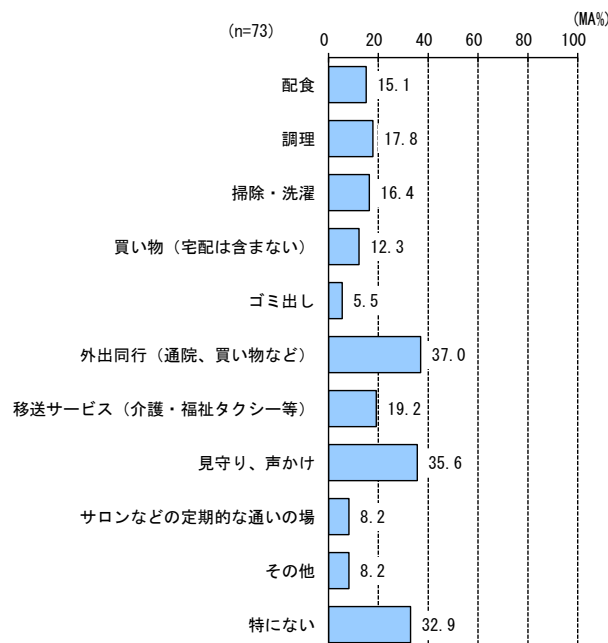
【介護者の意向・負担等に属する理由(MA)】



●問3-4 本人の生活の維持、もしくは家族等介護者の就労継続のために、充実が必要な「生活支援」をお答えください（複数選択可）

- 充実が必要な生活支援について、「外出同行（通院、買い物など）」が 37.0%で最も多く、次いで「見守り、声かけ」が35.6%、「特にない」が32.9%となっています。

【充実が必要な生活支援(MA)】

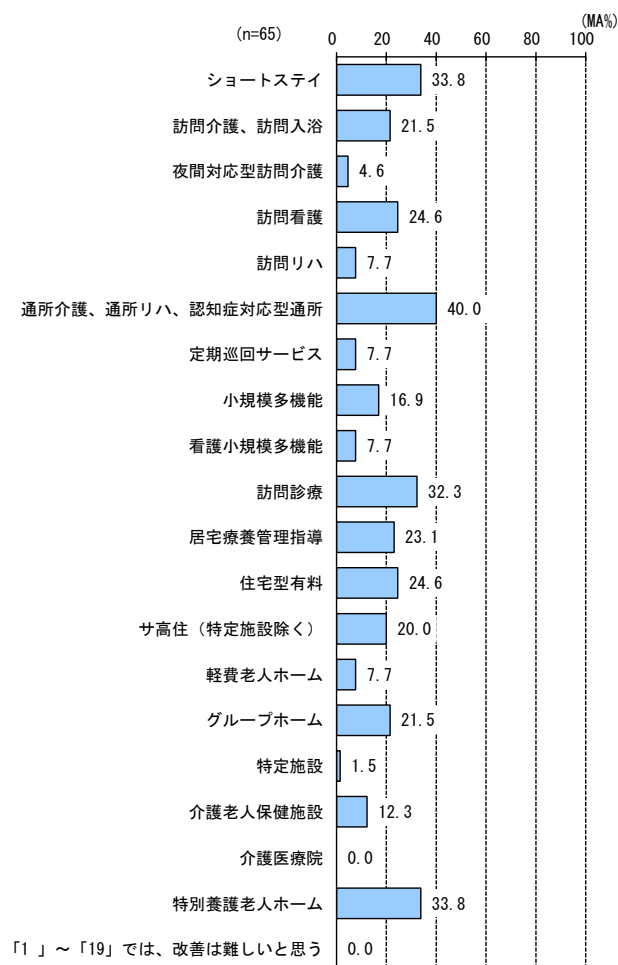


問4.「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」もしくは「家族等介護者の就労継続が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。

●問4-1 本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください（複数選択可）

○ 本来であればより適切と思われる具体的なサービスについて、「通所介護、通所リハ、認知症対応型通所」が40.0%で最も多く、次いで「ショートステイ」「特別養護老人ホーム」が33.8%、「訪問診療」が32.3%となっています。

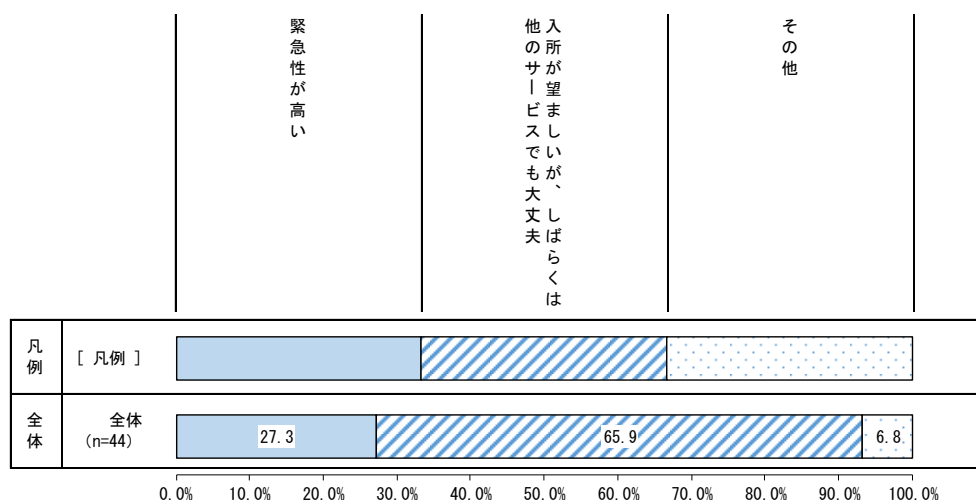
【本来であればより適切と思われる具体的なサービス (MA)】



●問4-2 利用者の入所・入居の緊急度をお答えください

- 利用者の入所・入居の緊急度について、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が65.9%で最も多く、次いで「緊急性が高い」が27.3%、「その他」が6.8%となっています。

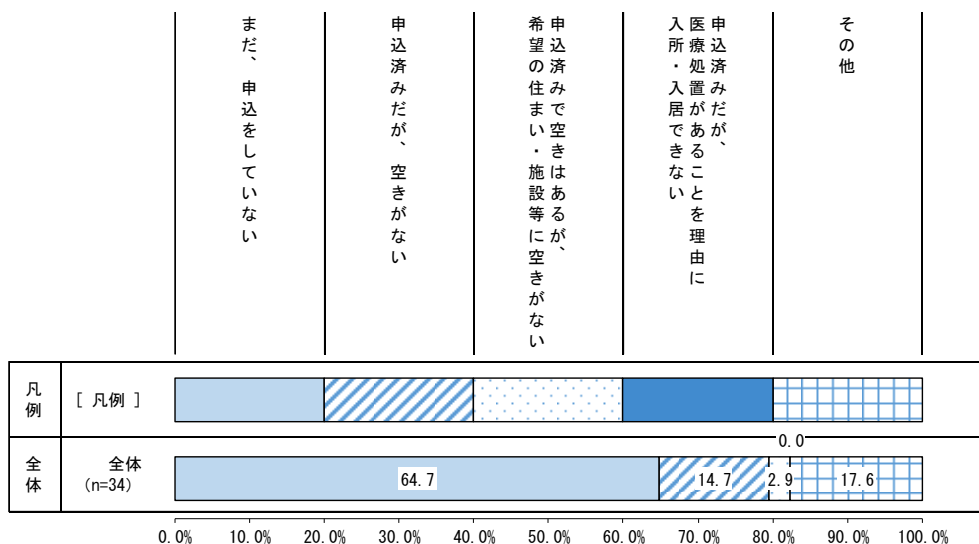
【利用者の入所・入居の緊急度】



●問4-3 入所・入居できていない理由をお答えください

- 入所・入居できていない理由について、「まだ、申込をしていない」が64.7%で最も多く、次いで「その他」が17.6%、「申込済みだが、空きがない」が14.7%となっています。

【入所・入居できていない理由】



●問4-4 特養に入所できていない理由をお答えください

- 特養に入所できていない理由について、「まだ、申込をしていない」が40.9%で最も多く、次いで「その他」が31.8%、「申込済みだが、空きがない」が27.3%となっています。

【特養に入所できていない理由】

